

塚崎11号墳及び51号墳(肝属郡肝付町)

きもつき

 [video](#)



「史跡 塚崎古墳群」と刻まれた標柱が立つ



こちらは「塚崎古墳群」と刻まれた石碑



説明板/大隅半島の南東部、標高約20mの台地上に分布する4～5世紀頃に築造された古墳群で、これまでの調査で前方後円墳5基、円墳54基のほか地下式横穴墓29基が確認されている/大隅地域最古とされる前方後円墳(11号墳)、日本最南端の前方後円墳(51号墳)や墳丘上に樹齢1300年以上とされる楠の大木(国指定天然記念物)が立つ円墳の1号墳などが展開している/51号墳～1号墳～11号墳と見て行こう!

国指定史跡 **塚崎古墳群** 昭和20(1945)年2月22日国指定



塚崎 51号墳 全長5.2m、高さ8m



↑真上から見た51号墳



塚崎 11号墳 全長4.1m、高さ5m ↑真上から見た11号墳



↑真上から見た石棺墓 (石を組み合わせた、ひつぎ)



↑石棺墓と塚崎26号墳

凡例	
	円墳
	前方後円墳
	古墳推定地 ※見学不可
	地下式横穴墓 ※見学不可
	石棺墓 ※見学不可



11号墳にくらべて、51号墳は四角の部分が大きくひろがっているね! この形から、51号墳が新しく作られたことが分かるよ!



塚崎古墳群は、4世紀～5世紀につくられた日本最南端の前方後円墳群です。全体で、59の古墳が確認されており、円墳、前方後円墳、南九州特有の地下式横穴墓といったお墓があります。この中で、前方後円墳は特に上級の墓であるとされ、塚崎古墳群は古墳文化の最前線であったことが分かります。

また、大隅で最初につくられた古墳群でもあり、古墳文化がはじまった時期に、最南端まで畿内(古墳の中心地)と同じ最先端の文化が共有されていました。

宮崎・鹿児島県地域でしか造られていない地下式横穴墓や、石でつくったお墓(石棺墓)が古墳と一緒に作られており、古墳時代のお墓には様々な種類があったことがわかります。

もっと塚崎古墳群のことを知ってみよう



町HP

右手の 📍 から、日本最南端の前方後円墳である51号墳へ向かう



日本最南端の前方後円墳

前方後円墳は、九州でも宮崎や大隅地域に多く造られ、古墳文化の最先端でした。

一方で、薩摩半島側には古墳はほぼなく、大隅地域は古墳文化の最前線でもありました。

前方に斜めになった白い標柱が見える



「日本最南端の前方後円墳」とある/この辺りが括れ部のように、左手が後円部、右手は前方部

 video



左手の後円部方向



右手の前方部方向

 video



前方部から括れ部方向を見たところ/このブッシュでは墳丘に登れない～



後円部の後ろ側/前方に標石が立っている

 [video](#)



この辺りが史跡境界のようだ



後円部から括れ部方向を見たところ

 video



これは11号墳に向かう途中にあった「塚崎の大楠」と記された表示板



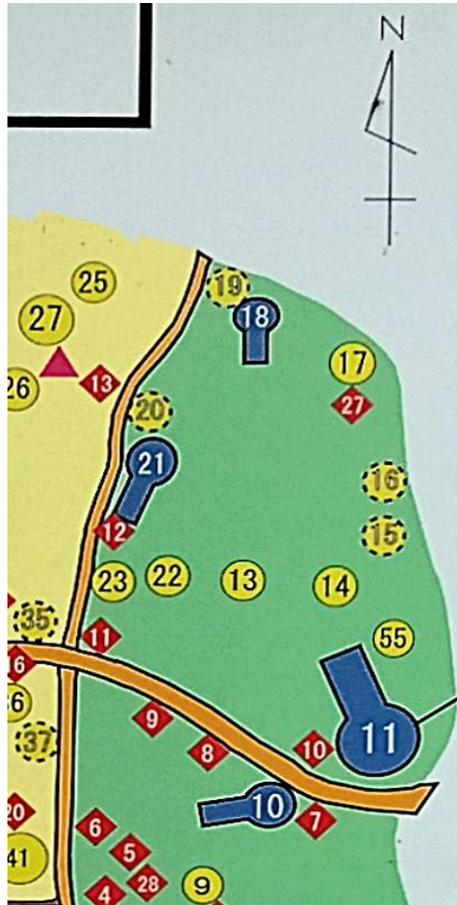
前方が「塚崎の大楠」/国指定天然記念物/1号墳(円墳)の墳丘上に立っている



こな塩梅



さて、大隅地域最古とされる11号墳に到着



大隅最古の前方後円墳

塚崎古墳群は4世紀に造られ始めました。この時期は、日本列島でも古墳を造っていた地域は、非常に限られており南九州は当初から畿内地域と密接な関係をもっていました。

これが11号墳/4世紀代の築造/括れ部辺りを見たところ/左手が後円部、右手は前方部



左手の後円部



右手の前方部

 video



後円部の墳丘に「史跡 塚崎古墳群第十一号」と刻まれた標柱が立っていた



後円部を後ろから見たところ

 video



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



後円部の墳頂



後円部から前方部方向を見たところ

 video



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



括れ部辺りで前方部を見たところ

 video



振り返って後円部を見たところ



前方部から後円部方向を見たところ

 video



前方部を後ろから見たところ

 video



前方部後ろの左手から後円部方向を見たところ

[video](#)



これは11号墳の近くにあった墳丘で、標柱が立っていた



「史跡 塚崎古墳群第十五号」と刻まれている



こちら11号墳の近くにあった、道路側に剥き出しになった石室



こんな塩梅

 video



裏手に行ってみると、墳丘の高まりが見て取れた/21号墳か？

 [video](#)



さて、ここは肝付町立歴史民俗資料館



塚崎古墳群等についての展示がされていた

 video





塚崎古墳群(国指定史跡)

塚崎古墳群は、標高約25mの塚崎台地に点在する本土最南端の前方後円墳群です。

今から約1,600~1,700年前(古墳時代前期~中期)につくられた古墳群で、大隅最古の古墳群です。

台地上には59の古墳(5つが前方後円墳他は円墳)、南九州特有の地下式横穴墓29が確認されています。

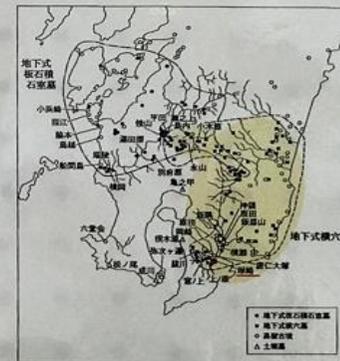
また、51号墳(花牟礼古墳)は、本土最南端の前方後円墳であり古墳文化の境界を示す、歴史上重要な古墳群です。

塚崎古墳群の年代

塚崎古墳群は、当初1,500年前(5世紀)の古墳であると考えられていました。

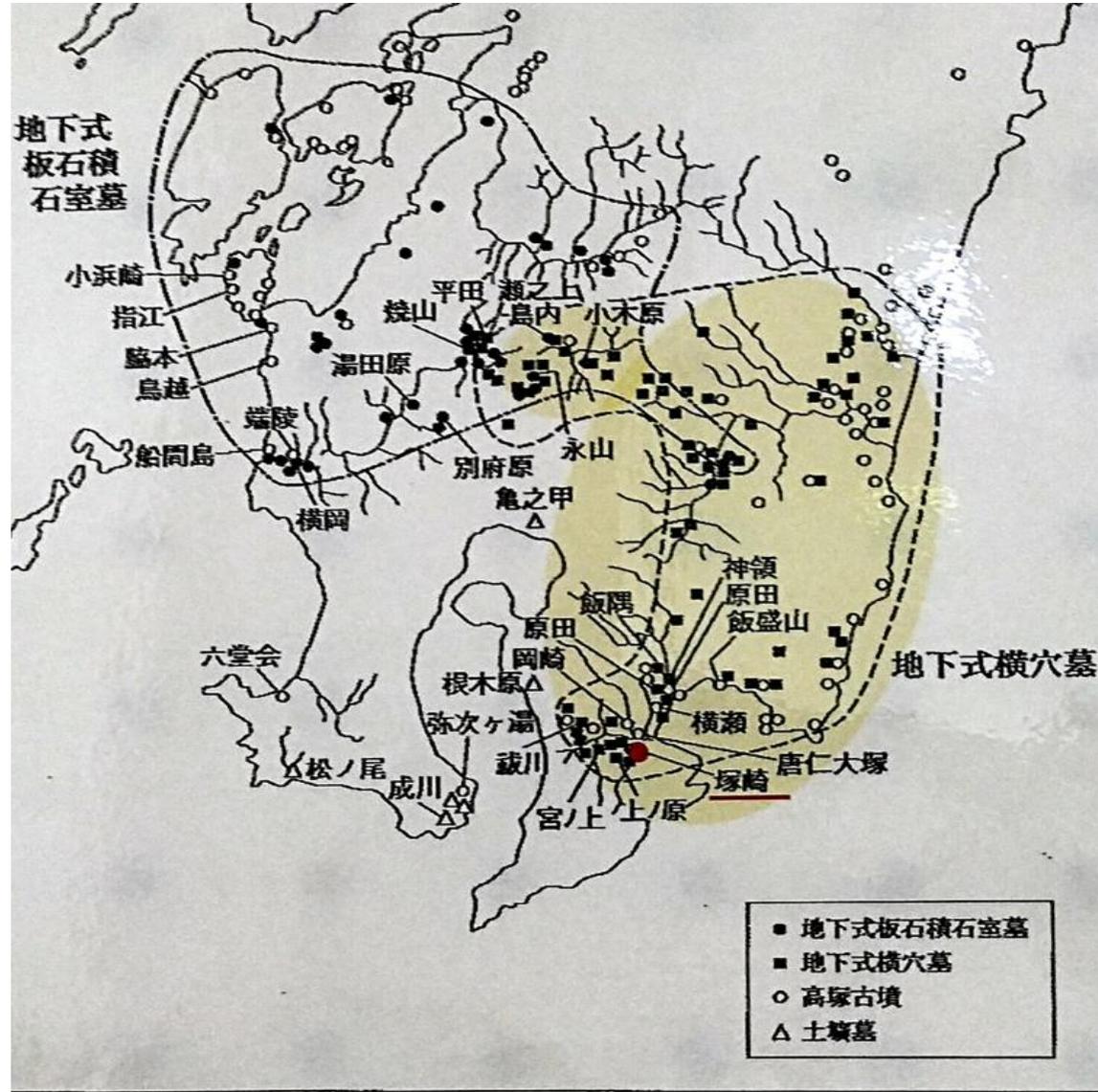
しかし、古墳の形や発掘調査の成果から1,600年前(4世紀)の古墳群であることが明らかになりました。

辺境の遅れた古墳というイメージから畿内地域からの古墳文化の影響を受けたダイナミックな古墳時代像へと変化したのです



南九州古墳分布図

永山伸一 1999 『鹿児島県の歴史』より引用



南九州古墳分布図

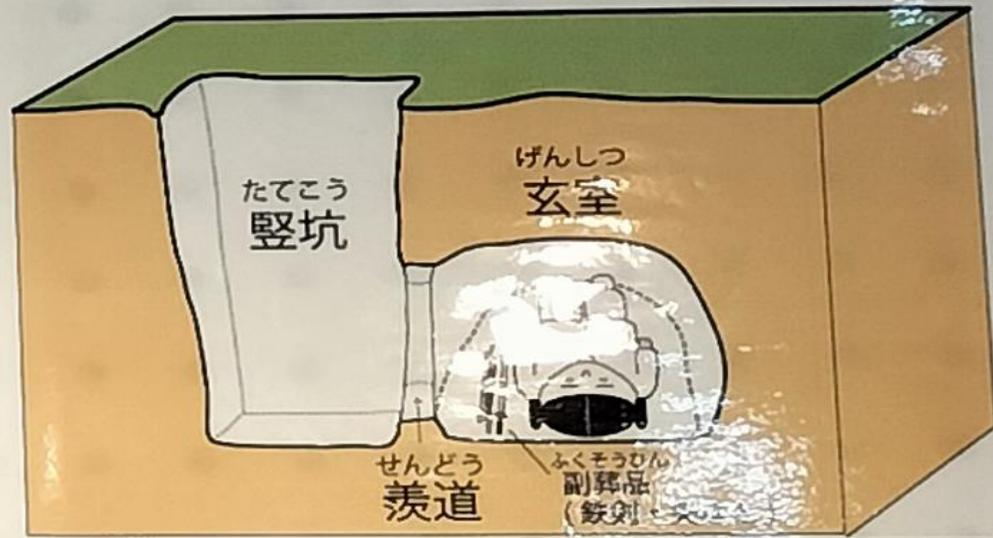
ちかしきよこあなぼ

地下式横穴墓の世界

地下式横穴墓は、5世紀～6世紀にかけて宮崎～大隅地域にかけてつくられたお墓です。

特徴として地下にL字状の穴をほり、遺体や副葬品を収めます。肝付町内では、塚崎古墳群など5カ所で発見されています。

密封された状態で埋葬されるため、通常では溶けてなくなる人骨や、鉄器類なども発見されます。このことから、古墳時代の状況が分かる貴重なタイムカプセルとなっています。



地下式横穴墓 模式図

